

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

2-④

施策

商工業・農林水産業の持続的発展を図り、産業力を強化する

担当部局

文化産業局, 建設局, 企画財政局

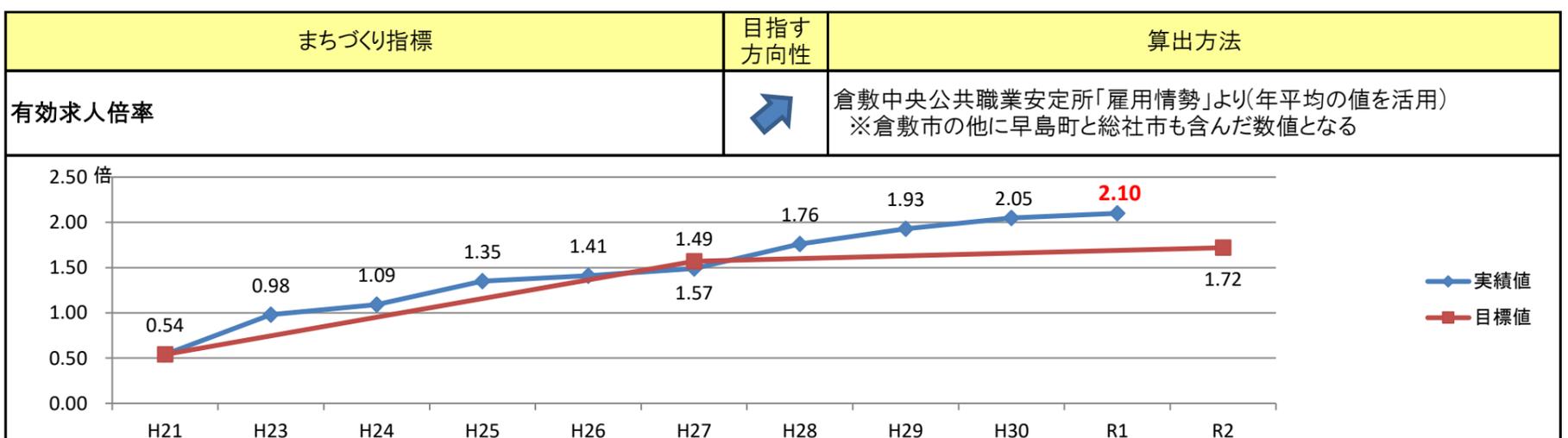
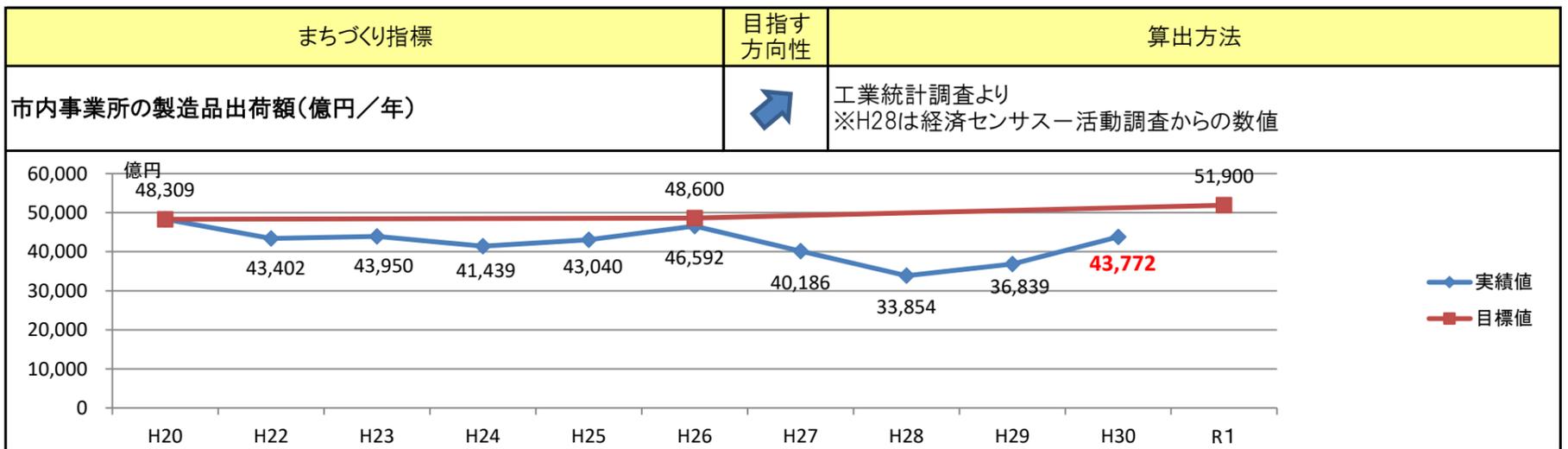
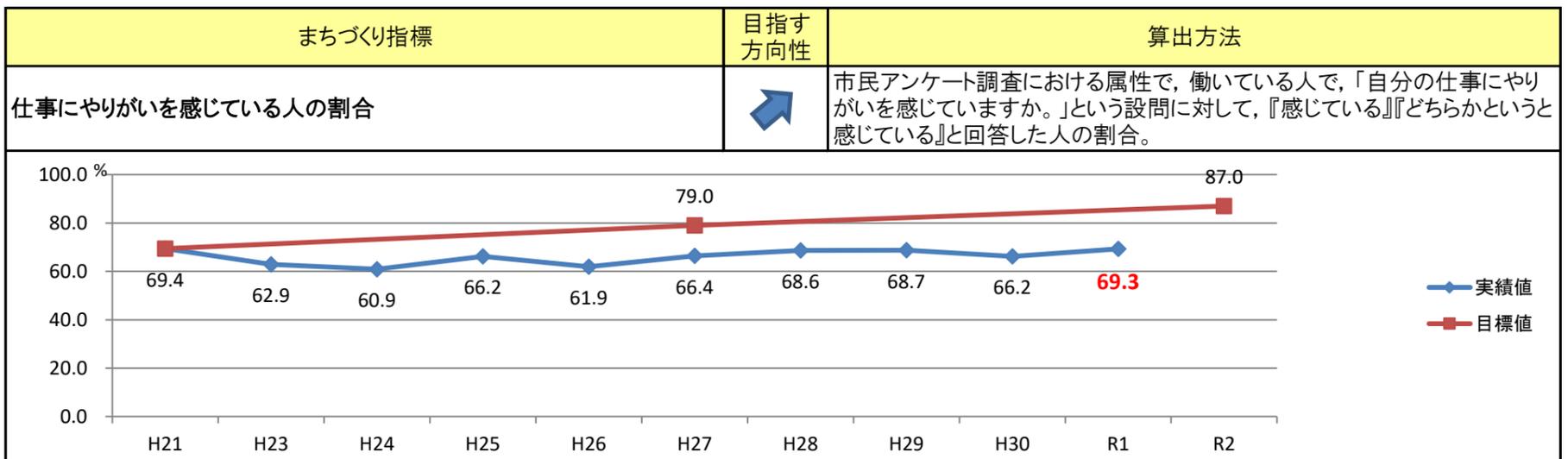


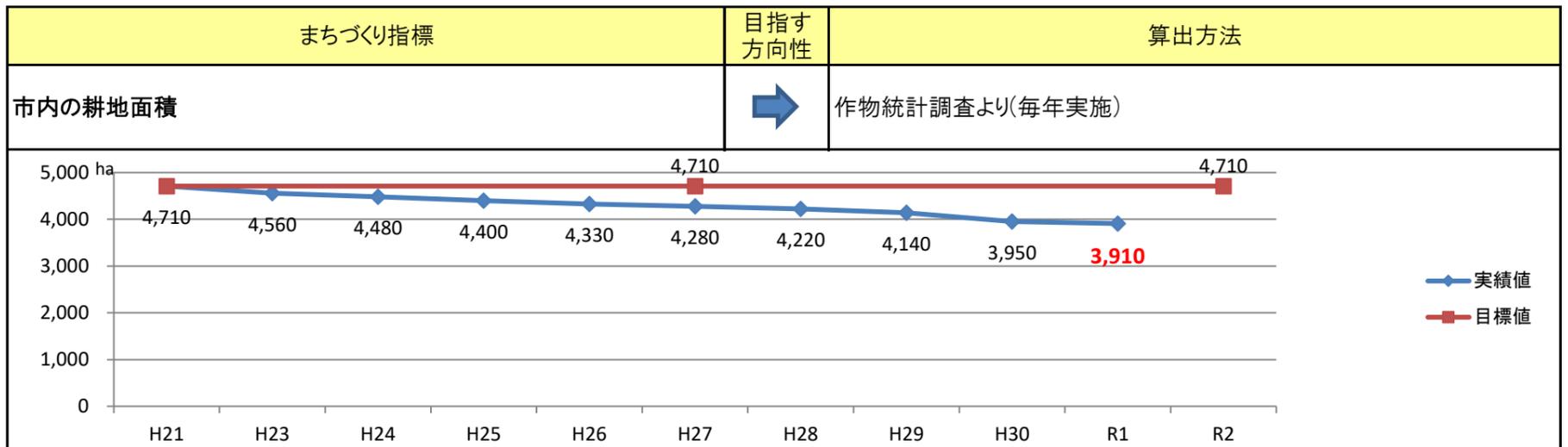
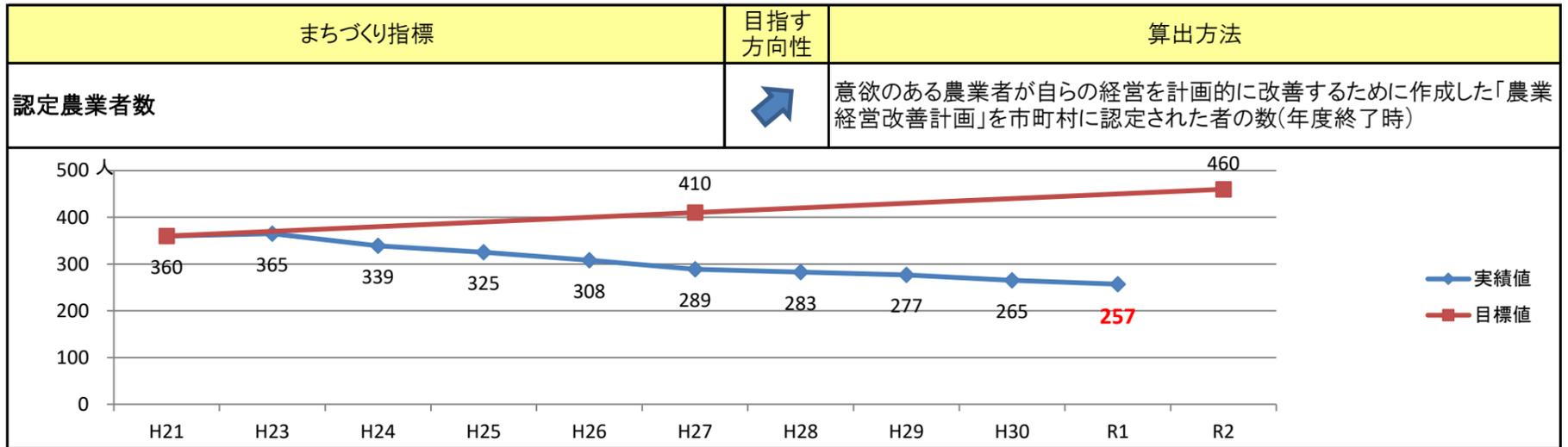
【躍動】 めざすまちの姿 経済活動が活発で、働く機会が充実している

市の基本方針

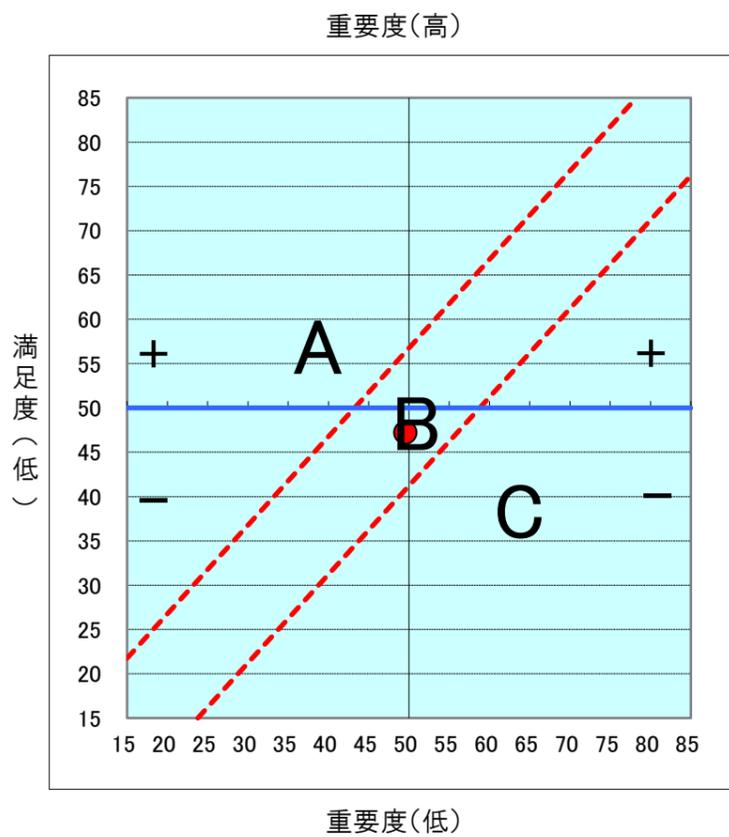
- 国・県と連携して、水島コンビナートの重要な物流拠点である水島港の競争力強化を図ります。また、産学官の連携により、立地企業が操業しやすい環境を整え、高効率化、高付加価値化、さらに、低炭素化に向けてのコンビナートの競争力強化への取り組みや環境配慮型コンビナート、地域とともに発展するコンビナートの形成をめざす取組を支援します。
- 景気の変動に左右されやすい中小企業の活性化のため、中・長期的な視野にたつて、イノベーション意欲が高く、やる気に満ちた中小企業や伝統ある地場企業の事業意欲を喚起し、持続的で活力ある事業展開につながる支援を行います。
- 大規模小売店舗と既存商業者との連携や地域貢献活動など、地域の発展のために商業者が行う活動を支援します。
- 安全・安心でブランド力のある多彩な農産物を生産・PRし、その維持・拡大を推進するとともに、地産地消に市民の理解を求め消費拡大を図ります。
- 農業が職業として選択し得る魅力とやりがいのあるものとなるよう、生産基盤の拡充を図り、効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るとともに支援を継続します。また、農業協同組合等と連携し、認定農業者や新規就農者、定年帰農者などの担い手の確保に努めます。
- 水産業では、漁業協同組合等と連携して、つくり育てる漁業を推進し、水産資源の維持・増大に努めます。

数値目標





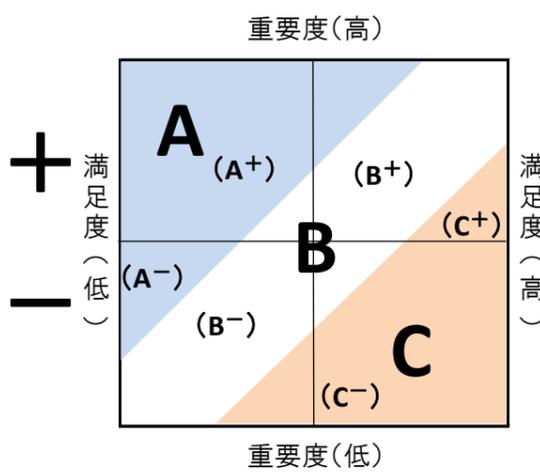
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁻	47.21	49.55

- 重要度に見合った満足度が得られている(B)
- 重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B: 重要度に見合った満足度が得られている領域
 C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
 +: 重要度が平均値より高い部分
 -: 重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公 創	水島コンビナート・水島港競争力強化支援事業	(Ⅰ) 地域活性化総合特区の指定を受けた水島コンビナートの国際競争力強化と基盤整備, また国際バルク戦略港湾として選定された水島港の安全性の確保, 機能強化及び国際競争力の強化を目的に実施した。 (Ⅱ) 県と連携した取組を進め, 総合特区においては, 規制の特例措置等の提案のうち, 平成30年度に新たに1項目, 現在までに合計19項目で国との合意が図られるなど, 一定の成果が挙げられた。 (Ⅲ) 総合特区計画の次期認定を受け, 継続して実施する。	91,388
重 公 都	水島港国際物流ターミナル・臨港道路整備促進事業	(Ⅰ) 水島コンビナートの競争力の強化を目的に実施した。 (Ⅱ) 負担金を拠出し, 国直轄事業である水島港国際物流ターミナル整備事業を推進した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	756,026
重 公 創	企業誘致推進事業	(Ⅰ) 玉島ハーバーアイランドへの低炭素型産業分野の企業の新規立地を推進し, また, 市内既存企業の工場等の新增設に助成を行うなど, 企業誘致を推進し, 地域経済の活性化や雇用の維持・創出, 税収の増加を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 企業誘致促進奨励金1件, 設備投資促進奨励金65件, 本社機能移転等促進奨励金1件の助成を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	830,790
重 公 創	EV化対応等新技術・新製品開発促進事業	(Ⅰ) 中小企業のEV化対応等次世代自動車関連分野への進出や, 新産業に関しての中小企業が取り組む新技術・新製品の研究開発等および新事業創出・技術開発等の調査研究を行うため, 研究機関または中小企業が連携して活動する研究会等を支援する。 (Ⅱ) 新事業創出連携交流事業補助金1件, 新技術・新製品開発促進事業補助金3件 (Ⅲ) 継続して実施する。	6,641
	中小企業融資事業	(Ⅰ) 市内中小企業者の経営の安定と設備の近代化又は合理化を図るため, 必要な資金を融資することを目的に実施した。 (Ⅱ) 700件, 3,077,001千円の融資を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	79,203
重 公 創	創業者支援融資事業	(Ⅰ) 低金利, 保証料補給付き融資を行うことで, 市内新規創業者の自立企業としての成長を促進し, 活発な事業活動を支援することを目的に実施した。 (Ⅱ) 26件, 77,300千円の融資を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,657 ※中小企業融資事業の内数
重 創	中小企業振興支援事業	(Ⅰ) 市内中小企業者の経営課題の解決や経営力の向上等を目的に実施した。 (Ⅱ) 中小企業診断士・弁護士・税理士・社会保険労務士・司法書士による, 経営に関する無料相談事業を行うとともに, 中小企業支援団体の事業を支援した。無料相談実績(49件) (Ⅲ) 継続して実施する。	2,676
重 公 創	高梁川流域次世代経営者塾事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の次世代経営者の経営能力向上, 資産価値増加を目的に実施した。 (Ⅱ) 事業承継, 後継者育成, 第二創業についての知識・スキルを習得するセミナー及び講演会を開催した。 ・次世代経営者塾受講者数:延べ99人(※全5回の連続セミナー) ・事業承継講演会受講者数:119人 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,500
	商工業活性化推進事業	(Ⅰ) 商工業の活性化を目的に実施した。 (Ⅱ) 市内商工団体が実施する経営改善普及事業に対して支援を行うとともに, 地域商工業者が中心となって実施するイベント8件について開催支援を行った。また, 若手技能者の全国大会等の出場に対して奨励金を15件を交付した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	42,402
	倉敷ファッションセンター運営事業	(Ⅰ) 地場産業の振興と市民の文化的交流の促進を目的に実施した。 (Ⅱ) 製品の検査等を行う繊維技術センターやファッションギャラリー等の運営を通じて, 繊維に関わる品質評価機関や, 地場産業の創造的な活動拠点となる施設の提供を行った。また, 空調機の大幅な修繕を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	75,695
	児島産業振興センター運営事業	(Ⅰ) 地場産業の振興を図り, 活力ある地域経済の実現を目的に実施した。 (Ⅱ) 工業用マシン等を設置したワークスペースや, 地場産業の産品をPRするスペース, デザイナー向けの起業家支援施設, 会議室を運営し, 人材育成や情報発信等を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	16,314
重 公 創	せんいのまち倉敷 人材確保・育成事業	(Ⅰ) 地場産業である繊維産業の振興を図るため, 繊維産業の支援機関である倉敷ファッションセンター株式会社と連携して, 業界の人材確保・育成等を目的に実施した。 (Ⅱ) 繊維関連事業者と全国の服飾系専門学校生をつなぐオープンファクトリー事業(参加事業者31社, 参加学生226人)を実施した。また, 繊維関連事業者を対象に, 必要な技術・知識を習得するための実践的な講座や繊維マイスター育成講座(講座数12, 受講者数472人)を実施し, 産地全体の人材育成を図った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	18,573

区分	事業名	目的(Ⅰ)令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公 創	高梁川流域「デニム・ジーンズ産地連携」創業者支援事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏内でのジーンズ関連の創業希望者等を対象に、縫製技術・製造知識の習得や産地への理解を図り、早期の創業・就労につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) 生地のカットや、工業用ミシンを使った縫製技術を学ぶ縫製講座と、井原のデニム生地の製造技術、倉敷・児島のジーンズ縫製や洗い加工技術を学ぶ工場見学を実施。倉敷会場5人、井原会場5人の計10人の参加者がジーンズ製造にかかる知識や技術を習得した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,411
	商業活性化事業	(Ⅰ) 商店街を中心とした商業の活性化を目的として実施した。 (Ⅱ) 商店街の空き店舗への出店等に対して14件補助金を支出するなど、商店街等の活性化に向けた取組を支援した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	39,362
重 公 創	くらしき地域資源活性化事業(地域資源発信)	(Ⅰ) 地域の個性と魅力あふれる「特産品」、「老舗」及び「魅どころ」を「くらしき地域資源」と位置づけ、その顕彰を通じて活性化を図るとともに、国内で地域資源の魅力を発信することを目的に実施した。 (Ⅱ) 市内において永年にわたり事業を行い、地域経済の発展に貢献している老舗企業を顕彰するため、大正7年以前創業の3社に感謝状プレートを贈呈した。また、高梁川流域圏の市町や倉敷市内各地域のくらしき地域資源(特産品・老舗・魅どころ)を市民及び県内外の方々に広く情報発信するため、倉敷みらい公園で「～至極の逸品～くらしきフェア」を開催し、約5万人の来場があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	8,200
重 公 創	くらしき地域資源活性化事業(国内販路開拓支援)	(Ⅰ) 大都市圏における地場産品の販路拡大、国内大規模見本市への出展などを支援し、地域経済の活性化につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) 渋谷ヒカリエ(参加事業者11社)での展示販売や、国際見本市である東京インターナショナル・ギフト・ショー(参加事業者6社)、グルメ&ダイニングスタイルショー(参加事業者6社)への出展支援を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	10,965
重 公 創	くらしき地域資源活性化事業(海外販路開拓支援)	(Ⅰ) 地場産品の海外販路開拓や販路拡大を支援し、地域経済の活性化につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) フランス・パリにおけるポップアップショールーム事業(参加事業者11社、来店者数1,381人、商談バイヤー数15人)のほか、倉敷市内でのアパレル個別商談(欧州やアジアより4社7人のバイヤーを招聘、参加事業者14社)及び食品商談会(国内輸出商社9社、参加事業者14社)、海外取引実践ワークショップ(全2回、参加事業者29社延べ37人)を実施した。 (Ⅲ) 一定の成果を得ることができたため、新たに地域再生計画を策定し、繊維産業の魅力を国内外に継続的に発信し認知向上を図る事業内容に見直す。	13,964
重 公 創	くらしき「個性と魅力」発信事業	(Ⅰ) 大都市圏における地場産品の販路拡大、国内大規模見本市への出展などを支援し、地域経済の活性化につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) 渋谷ヒカリエ(参加事業者11社)での展示販売や、国際見本市である東京インターナショナル・ギフト・ショー(参加事業者6社)、グルメ&ダイニングスタイルショー(参加事業者6社)への出展支援を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	10,965
重 公 創	高梁川流域創業サポートセンター広域連携事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の創業者支援を行うことを目的に実施した。 (Ⅱ) 高梁川流域圏域の創業者を対象としたインキュベーション施設「くらしきベンチャーオフィス」を運営し、商工団体、金融機関等と連携して創業相談の実施、起業塾の開催、創業者展示会の開催を行う「くらしき創業サポートセンター」を運営した。 ・くらしきベンチャーオフィス入居者 4人(令和元年度末現在) ・起業塾年3期開催 各期約30人受講 ・創業者展示会参加者数 19事業者 (Ⅲ) 継続して実施する。	8,315
重 公 創	がんばる中小企業応援事業	(Ⅰ) 市内中小企業者等の新たな事業展開等を応援することで、地域経済を支える中小企業者等の競争力を高め、地域産業の振興に寄与することを目的として実施した。 (Ⅱ) 研究開発6件、商品開発4件、産業財産権取得9件、販路開拓54件、共同出展型販路開拓1件、人材育成49件、事業承継1件、女性起業家ネットワーク2件、BCP策定支援2件、人材確保支援3件の計131件の補助を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	26,141
重 公 創	高梁川流域地域資源活用推進事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の地域資源を活用した新たな圏域ブランドの育成・商品開発・販路拡大等につなげることを目的に実施した。 (Ⅱ) 圏域の市町と共同で展示即売会を開催したほか、高梁川流域「産地連携」推進事業と連携して産地交流会(商談会・バイヤーツアー)を実施した。また、事業者間で連携して独自に販路開拓に取り組むものに対する実施経費の支援するとともに、高梁川流域の地域資源を活用するイベント(高梁川流域「倉敷三斎市」、備中玉島みなと朝市、早島・倉敷花ごまつり)に補助金・負担金で支援を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	26,567
重 公 創	高梁川流域経済成長戦略推進事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の経済成長を推進するため、産学金官で構成する高梁川流域経済成長戦略会議を開催、連携中枢都市と、圏域の経済成長について理解を深めるために、経済成長戦略セミナーを開催した。 (Ⅱ) 戦略会議2回開催、高梁川流域経済成長戦略セミナー2回開催(参加者:1回目54人、2回目23人) (Ⅲ) 継続して実施する。	1,140
公 創	高梁川流域ジュニアジーンズソムリエ事業	(Ⅰ) 流域圏内の重要な地場産業である繊維産業への小学生の興味・関心を育み、将来の人材確保につなげるため実施した。 (Ⅱ) ジーンズに関する子ども向けテキストを作成し、倉敷市及び井原市の小学校32校に配付した。うち、30校については、生地・ジーンズの実物や加工用品のサンプル等を用いて出前講座を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	3,612

区分	事業名	目的(Ⅰ)令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公 創	高梁川流域「産地連携」推進事業	(Ⅰ) 高梁川流域における新たな産業の需要創出を目的に、高い技術を持つ事業者と異業種の商品企画担当者やデザイナー等を産地に招聘し、商談会等を実施した。 (Ⅱ) 異業種間連携や流域の地域資源の活用を効果的に推進するため、高梁川流域地域資源活用推進事業と連携し、産地交流会(参加事業者44社、参加バイヤー30社、商談件数105件)を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	0
重 公 創	高梁川流域企業連携型研究開発事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域内の中小企業者の競争力を高め、圏域全体の経済成長に寄与することを目的として実施した。 (Ⅱ) 倉敷市と高梁川流域圏域の中小企業者が連携して行う、地域資源を活用した商品開発に対する補助を行った。(商品開発1件) (Ⅲ) 継続して実施する。	500
	真備地区産業復興推進事業	(Ⅰ) 真備地区の産業の復興を推進することを目的に実施 (Ⅱ) 地域おこし協力隊(2人)を配置。真備船穂商工会がグループ補助金復興事業計画に基づき実施する共同事業に対し支援(まび復興竹あかり:12月13日から1カ月開催)、真備地区での創業者に対する真備地区創業支援補助金交付(8件) (Ⅲ) 継続して実施する。	12,435
	プレミアム付商品券実施事業	(Ⅰ) 消費税・地方消費税率の10%への引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的に実施した。 (Ⅱ) 対象者に1冊額面5,000円の商品券を4,000円で販売。市内2,025店舗が取扱店舗として参加。商品券販売冊数190,367冊、商品券換金額948,802,000円 (Ⅲ) 令和2年6月に事業終了。	1,168,223
重 創	新規就農サポート事業	(Ⅰ) 意欲ある新規就農希望者に対し農業技術習得等の就農支援を行い、地域農業の中核となる担い手を確保・育成することを目的として実施した。 (Ⅱ) 国の農業次世代人材投資資金制度を活用し、地域農業の中核として期待される新規就農者に対し経営の早期確立、安定の実現に向け支援を行った。 (Ⅲ) 新規就農者のさらなる受入拡大を図りながら、継続して実施する。	27,127
重 創	地域担い手育成総合支援事業	(Ⅰ) 将来の地域農業の担い手となるべき農業経営者の育成、確保を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 倉敷市地域農業担い手育成総合支援協議会を通じて、手引書やリーフレットの作成配布や就農相談会の実施、学童農業体験事業の実施、農産物のPRなどを行い、地域農業の担い手の確保育成を行った。 (Ⅲ) 事業現場の意見を取り入れ、より有益な事業へ改善を図りながら、継続して実施する。	1,584
	新規就業対策事業	(Ⅰ) 新たに農林漁業に就業し、将来にわたり専業として経営を続けていこうとする人を支援することを目的として、奨励金を支給した。 (Ⅱ) 新たに農業・漁業に就業した5人に対して就業奨励金を交付した。 (Ⅲ) 新規就農者のさらなる受入拡大を図りながら、継続して実施する。	375
	中山間地域等直接支払い事業	(Ⅰ) 農業生産条件で不利のある中山間地域において、耕作放棄の発生防止や、水源のかん養等多面的機能の確保を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 国の中山間地域等直接支払制度(第4期対策)に基づき、4集落39農家(対象面積:108,239㎡)に交付金を交付した。 (Ⅲ) 国の制度を活用し、継続して実施する。	1,679
重	耕作放棄地対策事業	(Ⅰ) 県の耕作放棄地対策の対象とならない農地で実施される再生・利用の取組を支援することを目的として実施した。 (Ⅱ) 耕作放棄地対策事業実施者(1件)からの申請に基づき交付金を交付した。 (Ⅲ) 国・県の施策を注視しつつ、継続して実施する。	53
重 創	ほ場整備事業	(Ⅰ) 玉島陶中地区・船穂町柳井原地区で、区画の規模、形状変更、用排水、道路等の農地基盤の整備を、農業生産性の向上、担い手への農地利用集積、農村環境の整備、地域の活性化などを目的として実施した。 (Ⅱ) 船穂町柳井原地区(詳細設計、区画整理)、玉島陶中地区(詳細設計、区画整理) (Ⅲ) 船穂町柳井原地区は令和3年度完成予定、玉島陶中地区は令和4年度完成予定	80,791
重 創	農業経営基盤強化促進事業	(Ⅰ) (一財)倉敷市船穂農業公社に委託し、農地集積や農作業受託などの農地有効活用や新規就農希望者等への農業研修などを行うことで、地域農業の振興を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 498,590㎡の農地を集積し、この内496,147㎡を新たな担い手へ貸付けた。また、営農が困難な農家から、220,870㎡の農地について農作業の受託を受けた。 (Ⅲ) 新規就農者のためのほ場確保など実施する事業を検討しながら、継続して実施する。	43,475
	人・農地プラン作成事業	(Ⅰ) 地域ごとの協議に基づいた、地域農業のあり方(中心的担い手等)に関する計画(人・農地プラン)の策定を支援することを目的として実施した。 (Ⅱ) 市内を9のブロックに分け、地域の特性に応じた人・農地プランの作成を支援した。 (Ⅲ) 人・農地プランを実質化させ、真に地域の話合いに基づくものとするため、農業委員会など関係機関と連携し、中心経営体への農地の集約化に関する将来方針の作成を推進する。	541
	農地中間管理事業	(Ⅰ) 農業経営の規模拡大、耕作の事業に供される農用地の集団化、農業への新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等による農用地の利用の効率化及び高度化の促進を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 市内耕地面積に占める認定農業者等担い手による経営面積の割合(農地利用集積率)が21.3%に増加した。 (Ⅲ) 関係団体と連携し、事業の周知を行うとともに、事業の活用促進を図りながら、継続して実施する。	116
	農産園芸振興対策費補助事業	(Ⅰ) 農作物の生産及び農産物の流通対策等の円滑な推進を図るため、農業協同組合や地域の中心経営体等を支援することを目的として実施した。 (Ⅱ) 地域の代表的な農産物の産地育成や環境保全型農業の供給率向上など、12件の事業を行った。 (Ⅲ) 生産者の要望を聞きながら事業の活用促進を図り、継続して実施する。	18,378

区分	事業名	目的(Ⅰ)令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重 公 創	マスカット生産新規就農者支援事業	(Ⅰ) マスカット・オブ・アレキサンドリアの加温栽培で日本一である本市において、苗木の新植・改植を支援及び新規就農者への支援を行い、栽培面積の増加と生産技術の継承を図った。 (Ⅱ) 令和元年度は、4.9aの改植を実施した。 (Ⅲ) より効果的な生産振興が図れるよう、事業内容の検討を行いながら、継続して実施する。	147
重 創	地産地消推進事業	(Ⅰ) 地元農産品等の消費を拡大し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 地産地消イベントによる農産品のPRを行った。 (Ⅲ) 消費拡大のみでなく、生産振興も図るよう、事業内容の検討を行いながら、継続して実施する。	1,322
重 公 創	ぼっけーうめえ農林水産品事業	(Ⅰ) 高梁川の恵みにより、四季を通じて、豊かで高品質な農水産物が出荷できる強みを生かした販売促進を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 高梁川流域圏農業振興に関するプラン作成にかかるヒアリング調査を行った。また、関西圏から市場関係者を産地に招聘するなど、PR事業を実施した。さらに、親子農業・漁業体験を実施し、豊かな農水産物に触れる機会を通じて、地域農業や漁業への理解と啓発を図った。 (Ⅲ) 流域市町と連携して、圏域の農業振興に資するよう事業内容の検討を行いながら、継続して実施する。	8,338
	市民農園事業	(Ⅰ) 農作物の栽培を通じて、市民に農業及び食の重要性に関する理解を深めてもらうとともに、家族の憩いの場や、コミュニティの場として地域交流を促進することを目的として実施した。 (Ⅱ) 令和2年4月1日現在、23農園663区画を運営している。 (Ⅲ) 利用状況、応募状況から検討し、継続して実施する。	3,885
重 公 創	次世代施設園芸研修事業	(Ⅰ) 意欲ある農業者に対して、次世代施設園芸先進地のオランダ及び国内での研修を行うことで、本市農業全体の振興を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 令和元年度は、市内農業者をオランダ研修に6人、国内研修に10人(オランダ4人含む)派遣し、先進的な施設園芸技術を習得し、それらを活用した積極的な営農や技術普及を担う地域のリーダーの育成と農業振興を図った。 (Ⅲ) 研修効果向上のため、コンソーシアムや農業者の意見を反映しながら、継続して実施する。	10,691
重 創	民間農産物集出荷貯蔵施設等整備助成事業	(Ⅰ) 国の産地パワーアップ事業を活用した、民間事業者が行う集出荷貯蔵施設整備の助成を、農産物産地の競争力強化及び高収益化を目的として実施した。 (Ⅱ) 浅原園芸組合の選果機(もも)整備による、品質向上と供給力強化に向けた取り組みを支援した。 (Ⅲ) 産地の要望を聞きながら事業の活用促進を図り、継続して実施する。	37,925
重	農作物等鳥獣害防止対策事業	(Ⅰ) 有害鳥獣による農作物被害の軽減を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 駆除班に委託し、イノシシ952頭、ヌートリア256頭、カラス1,709羽ほかの有害鳥獣を捕獲するとともに、パンフレット配布等により被害防止対策への意識向上を進めた。また、農作物を守る防護柵について、農地10.6haへの設置を助成した。 (Ⅲ) より効果的な駆除・防除対策について実施内容を検討しながら、継続して実施する。	24,357
重	農業振興ビジョン策定事業	(Ⅰ) 本市の最上位計画である「倉敷市第七次総合計画」の農業振興に係る個別ビジョンとしての策定を目指して実施した。 (Ⅱ) 真備地区復興ビジョンと真備地区復興計画との整合性を計るため、農業振興ビジョンに先立ち、真備地区方針を策定した。 (Ⅲ) 令和3年度の公表を目指し、継続して実施する。	726
重 公 創	赤ワイン用新ブドウ開発事業	(Ⅰ) ふなおワイナリーの生産性向上と、地域の農業振興を目的として実施した。 (Ⅱ) 岡山理科大学、ふなおワイナリーと連携し、シラガブドウとマスカット・オブ・アレキサンドリアを交配した新種ブドウの開発研究を行った。また、赤ワイン醸造棟のPRのため、パンフレットを作成した。 (Ⅲ) 平成30年から3カ年間の事業として実施する。	4,724
	森林環境調査事業	(Ⅰ) 林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理を図る、国の森林経営管理法に基づく森林経営管理制度の取り組みを実施した。 (Ⅱ) 森林区分解析等の森林現況調査を行った。人工林(スギ・ヒノキ)186ha (Ⅲ) 令和元年度で森林環境調査事業は完了し、次年度は森林環境保全事業を実施。	19,311
重 創	稚魚等放流・栽培漁業振興事業	(Ⅰ) 漁業資源の回復、栽培漁業の推進を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 漁業協同組合等と連携し、メバル(20,000尾)、ヒラメ(10,000尾)の稚魚を放流するとともに、アサリ観光養殖事業等に対して補助を行った。また、岡山県が設置する中間育成施設の運営及び種苗生産に係る経費を負担した。 (Ⅲ) 漁協からの要望調査等で計画的に、継続して実施する。	7,278
重	漁場環境クリーンアップ事業	(Ⅰ) 漁場環境の保全を目的として実施した。 (Ⅱ) 漁業協同組合が行う海面・海浜の清掃で収集した漁場ごみの集積運搬(8,930kg)及び海底耕耘による海の底質改善、海底ごみ(5㎡)の回収により、漁場環境が改善された。 (Ⅲ) 漁協と実施する地域を検討して、継続して実施する。	6,332
重 都 創	漁港整備事業	(Ⅰ) 漁業生産の基盤である漁港施設の機能を維持保全し、水産物の安定供給を図るとともに、高潮や浸水の被害を防止することを目的に実施した。 (Ⅱ) 小原漁港において、浮桟橋の整備を行った。また、通生漁港において、防波堤の整備を行った。 (Ⅲ) 国県の制度を活用しながら、継続して実施する。	28,848